

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	春名大輔	所属	五稜会病院
研究会等名称	臨床心理科学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 5 名 (うち認定心理士 3 名) 非会員 27 名 (うち認定心理士 不明)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>実施内容: 「事例の中の臨床心理学 (第 2 回)」をテーマとして研修会 (シンポジウム・教育講演・招待講演) を実施した。シンポジウムでは、4 つの異なる事例 (緘黙・不眠症・強迫性障害・神経心理学領域) を通してエビデンスの重要性を理解することを目的とした。4 つの事例から、支援を行う際に必要となるアセスメントの重要性や支援の具体的計画について検討を行った。事例を通じた研修に加えて、教育講演として心理療法の効果について (テーマ: Evidence-Based Psychotherapy-最近の知見-)、またトラウマティック・ストレスへの心理学的介入をテーマに招待講演も行われた。</p> <p>成果: まず、参加者は講師を含め 32 名であった。参加者は、若手の臨床家からベテランの臨床家まで幅広い年齢層であり、現在、臨床現場で活躍されている心理士の方がほとんどであった。そのため、シンポジウムではさまざまな経験を踏まえた活発な意見交換が行われた。また、研修会後のアンケートには、内容がもりだくさんであったことから、それぞれに対する時間について検討し直す必要性は指摘されていたが、いずれに対しても高い評価が得られていた。本研修会の継続の必要性を感じることができる研修会であった。</p> <p>将来計画: 今後も同様の研修会を継続していくことを予定している。具体的には、「臨床」であっても科学的な視点が必要であること、また行った「臨床」を形にすることの重要性についてさまざまな領域の専門家と議論していくことを考えている。現状では、心理職に偏った内容となっていることから、今後は心理職以外のコメディカルスタッフ (例えば、看護師など) や基礎系の研究者も議論に参加してもらおう予定である。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
臨床心理科学研究会				
研究集会開催日： 2017年 10 月 7 日( 土 )				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	春名 大輔	五稜会病院	○	
2	後藤 貴浩	川崎こころ病院	○	○
3	角田 純	自衛隊岐阜病院	○	○
4	樋町 美華	東海学園大学	○	○
5	広瀬 慎一	五稜会病院		
6	大澤 香織	甲南大学	○	
7	松岡 みずほ	五稜会病院		
8	田村 智恵	五稜会病院		
9	藤井 美緒	五稜会病院		
10	中越 朋郁	五稜会病院		
11	足立 直子	なおこ心理相談室		
12	市川 薫	札幌児童相談所		
13	小幡 昌志	札幌市スクールカウンセラー		
14	小野 久美子	大江病院		
15	尾野 裕子	登別市役所 子育てグループ 中央子育て支援センター		
16	風間 恵美子	札幌市教育委員会		
17	川島 るい	北海道大学保健センター		
18	簡野 寛己	札幌保護観察所		
19	木谷 岐子	北海道大学教育学研究院 専門研究員		
20	小林 茂	札幌なかまの杜クリニック		
21	小杉 愛恵	札幌トロイカ病院		
22	白川 玲奈	修徳会 林病院		
23	高村 荘介	札幌市教育委員会 特別支援教育巡回相談員		
24	高木 梨帆	特定医療法人さっぽろ悠心の郷 放課後等デイサービス悠		
25	寺村 堅志	法務省札幌少年鑑別所(心理職)		

	氏名	所属	会員	認定 心理士
26	西村 淑恵	こころとそだちの相談室 みなみな		
27	西塚 拓海	札幌鈴木病院		
28	野口 直樹	札幌市子ども発達支援総合センターちくたく		
29	畑野 美智子	札幌白石記念病院		
30	原田 静子	札幌学院大学心理臨床センター(研修員)		
31	山崎 典子	小樽市立病院		
32	平間 千絵	旭川福祉専門学校		

(様式5)

2018年3月22日

日本心理学会研究会2017年度会計報告書

研究会名称 臨床心理科学研究会

研究会番号 研17013

助成金額 ¥40,000

年月日	項目	金額
2017年10月7日	講師交通費	¥40,000

---

支出合計 ¥40,000